

週刊 新社会
 発行所：新社会党 発行者：小森 龍邦
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-3-7三建ビル八丁堀6F
 TEL. 03 (3551) 3980 FAX. 03 (3551) 6406
 振替 00140-0-149727 1カ月600円 郵送料1カ月160円

新社会ちば

2003年3月 33号

発行：新社会党千葉県本部

千葉市中央区新千葉2-1-1 新千葉ビル4 F
 TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
 E-mail sinsya@lily.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www1.ocn.ne.jp/~nsp/

堂本県政の 03年度予算

赤字のツケを県民に転嫁

責任は「野放図な開発行政」

03年度千葉県の 10大事業

項目	単位 億円	予算額
1 道路・橋梁		590
2 流域下水道		427
3 河川		321
4 私立学校補助		310
5 常磐新線開発		200
6 交通安全整備		112
7 特養ホーム建設補助		60
8 市町村合併推進		51
9 港湾		35
10 低公害車補助		27

県は財政負担を理由に県営水道からの撤退を計画しています。県内の水道は、都市部は県営で、郡部は市町村営ですが、市町村の水道に対する県補助金を昨年3億円(約7%)も削減しました。このため、県水との不公平がひろがったとして、県営水道をやめ、都市部の水道を市に移管するものです。水道料金的大幅値上げ

県営水道撤退 市町村に負担

千葉県が03年度当初予算を発表しました。02年度決算が46年ぶりの赤字(100億円)となったため、いっそう県民しめつけの予算となつていす。堂本知事は、昨年度も生活切捨ての予算を組み、赤字を県民に転嫁しました。そして昨年9月、県民負担をさらに強める「財政再建プラン」(本紙02・10月号既報)を発表しました。この「財政再建プラン」は、財政赤字の原因が、これまでの野放図な開発行政にあったことを棚上げにし、赤字の責任が県民にあるとする内容でした。03年度予算は、これを実行にうつす最初の予算で県民生活の切捨てと県の財政負担を市町村に転嫁しており問題の多いものです。

県は財政負担を理由に県営水道からの撤退を計画しています。県内の水道は、都市部は県営で、郡部は市町村営ですが、市町村の水道に対する県補助金を昨年3億円(約7%)も削減しました。このため、県水との不公平がひろがったとして、県営水道をやめ、都市部の水道を市に移管するものです。水道料金的大幅値上げ

は必至です。一方、房総臨海地区の工業用水貸付金などは30億円と前年並に出しています。飲料水という死活問題からも撤退しようとする県の姿勢に、大きな批判が高まっています。

あいも変わらず 生活予算削減

「児童扶養手当」は、01年度予算では、127億円、02年度には、97億円、ことし03年度には、わず

か17億円に削減されました。制度を変え、市へ移管したとしています。

しかし、下に転嫁できない市町村は、当然にその負担を住民に転嫁することになるのです。「医療」では総額142億円の累積赤字を抱えるとして6つの県立病院を統合し、小規模分散型の非効率な運営で人件費がかさむ状態を改めるとして合理化を計画しています。公的病院の整備への補助も33億円から22億円へ

と30%削減しています。「高齢者福祉」では、特養ホーム等の建設も積極的に進めようとする姿勢がなく、施設整備事業補助も10%削減です。介護保険の財政を補填する基金積立も22億円から5億円に削減しました。

大型道路などの開発予算は増額

一方、開発関係は、大型道路建設には453億円も投入しており、わずか10%の削減ですが、生活に密着した舗装道路の修繕では15%、排水整備では40%、交通安全対策では15%も削減しており、開発優先の姿勢が目

立っています。開発予算として、道路・河川・港湾の直轄事業の負担金が24億円、さらに上乗せされています。「ふさのくに市町村支援事業」に51億円を計上するなど、市町村合併に

働く者の権利を守る

千葉市内で
春闘学習会

「反失業共闘」と「権利問題研究会千葉県支部(権闘研)」は2月20日、千葉市内で春闘学習会を行いました。権闘研の福田徹代表が「働く者の生活はどうなっているか」等について、「03年権利白書」をもとに講演を行いました。集会に参加したN関労(NTT関連労組)の仲間は、「春闘の山場と



展望

自治体議員選挙が4月に迫った。「地方政治に思想はいらない」とはよく聞く言葉だが、これほどのウソはない。その理由は2つある▼いまの地方政治は、保守思想で真っ黒だ。いわく民活、自己責任論、公共事業最優先等々。別の思想がいらないだけだ。長野の田中知事は別の思想を持ち込んで、村八分にあつた▼2つには、いざ鎌倉となると、思想がいらないはずの、保守の地方議員が、自民党の国政選挙の手足となつてかけ回る▼地方政治は国政の基盤だ。思想がいらないはずがない。地方選挙は、だから、国政を変える選挙だ▼悪代官を締め出すには、その子分を、まず始末しなければならぬ。「お世話になつたあの人」だけでは、あつてもとんでもないツケがまわる▼国政の政策論争は、地方選でも大きなテーマにされなければならぬ。

堂本知事の 本質鮮明に

予算を見る限り、堂本県政は、沼田自民党県政以上に開発優先です。永尾俊彦氏は、週刊金曜日でこう述べています。「沼田前県政時代の新産業三角構想に、堂本知事は常磐新線沿線開発を加え、「四角構想」を進めている。道路開発にも熱心で、アクアラインの大赤字にもこりずに、東京湾口道路をかけようとしている。利権がからま

購読料月六百元、郵送料月百六十円
 ※お申し込みは、新社会党本部へ
 043-244-6865

イラク攻撃反対の声をより強く

高教組が集会とデモ

2月15日に、全世界で「イラク攻撃に反対」の行動が行われ、60か国、400都市で1千100万人が参加しました。政府が戦争を行おうとしている国でも戦争反対の声が盛り上がり、アメリカでは150都市で100万、イギリスでは200万、スペインでも450万人が参加しています。

千葉県では高教組(千葉県高等学校教職員組合)の主催で集会とデモが行われ組合員や呼びかけに応じた労働者、市民500名が「戦争反対」



を訴えました。新社会党からは上野建一委員長が「日本で攻撃反対のウネリを作るためには労働者が立ちあがるのが大切だ。全労働者の先頭に立つてほしい。私たちが共に闘う」とあ

平和を願う高校生たち

集会では高校生の平和アンケートも発表されました。これは、高校の先生たちが生徒たちの気持ちを知り教育に生かしていこうと行ったもの。

高校生たちは、しっかり社会を見つめ平和を願っていることが明らかになりました。私たちは世界の人たちと連帯し、行動を起こし、若者にしっかりと平和を呼びかけましょう。

高校生に対する「平和アンケート」結果

- Q1. アメリカは「テロへの報復だ」としてアフガンを攻撃しましたが、それに対してあなたはどのように思いますか。
- A1. テロがあっても戦争するのはおかしい 60%
 - A2. 同時多発テロがあったから当然 20%
 - A3. わからない、その他 20%
- Q2. アメリカを支援するために自衛隊がインド洋に派遣されていますが、どう思いますか。
- A1. 自衛隊が他国に出撃するのは反対 47%
 - A2. テロをなくすためだから賛成 22%
 - A3. わからない、その他 30%
- Q3. アメリカが「イラクは大量破壊兵器を開発している」としてイラクを攻撃しようとしています。どう思いますか。
- A1. 先制攻撃は国際法に違反するので反対 32%
 - A2. イラクの大量破壊兵器開発を阻止するためなので賛成 21%
 - A3. わからない、その他 45%
- Q4. アメリカがイラクを攻撃した場合、日本はどうすべきですか。
- A1. アメリカの軍事行動に反対する 29%
 - A2. アメリカに経済援助をする 18%
 - A3. アメリカに軍事援助をする 8%
 - A4. わからない、その他 36%
- Q5. 国会で審議されている「有事法制」には、戦争政策への国民の協力義務が規定され、従わない者には罰も定められていますが、どう思いますか。
- A1. 人権侵害になるから反対 55%
 - A2. 戦争だから当然 9%
 - A3. わからない、その他 35%
- Q6. 憲法9条では「戦争の放棄」「戦力の不保持」「交戦権の否認」が規定されていますが、知っていますか。
- A1. 知っている 69%
 - A2. 知らない 13%
 - A3. 知っているところ知らないところがある 19%
- Q7. 憲法を正しく改正して戦力(軍隊)を保持すべきだという意見をどう思いますか。
- A1. 反対 63%
 - A2. 賛成 12%
 - A3. わからない、その他 25%
- 出所「日の丸・君が代」対策委員会資料より抜粋

地域から政治を変えよう

統一自治体選挙が4月20日告示、27日(日)投票で行われます。友人知人の方をご紹介ください。

銚子	小林 良子	公認	現	唐子町25-21	TEL・F 0479-22-7324
佐倉	富塚 忠雄	公認	現	井野874-4	TEL 043-489-2326 F 462-0654
	勝田 治子	公認	現	海隣寺町34	TEL・F 043-485-5272
船橋	浦田 秀夫	推薦	前	高根台6-38-6	TEL・F 047-461-1350
習志野	たつみ久美子	公認	現	袖ヶ浦6-10-16	TEL・F 047-451-6393
	宮内 一夫	公認	現	東習志野5-1-3	TEL・F 047-475-8377
	かし村千鶴子	公認	新	花咲1-8-4	TEL・F 047-475-7170
市川	田中まさとし	公認	新	南八幡4-8-4	TEL 047-370-9393 F 379-5582

千葉市内で講演とシンポ開く

水環境汚染をくい止めよう

県せっきん連絡会など3団体

「ペットボトル水を買って飲むことに違和感をもいませんか?」「水道の蛇口に浄水器をつけることにも抵抗ありませんか?」

ほんの10数年前までは、水道水を蛇口から飲むことがあたりまえでした。最近では、水道水への評価は下がるばかりです。これは水源地とその原水の汚濁が進んだことの結果であり、私たちが自然環境を壊してきたことのツケが回ってきたといえます。

さらに、多種多様な化

未来世代の健康を守る

これら事態に警鐘を鳴らし、「未来世代の健康被害を最小限に食い止めなければならぬ」と、2月6日、千葉市内で「安全な水環境の創生をめざす集会」が行われ

ました。主催は「県せっきん連絡会」と「残士・産廃ネット」「環境ホルモン対策国民会議」の3団体で、後援団体には10団体が参加しました。

水の安全に関する3つの講演と「子供を取り巻く安全な水環境の創生をめざして」のシンポジウムが行われました。

千葉県の環境行政の現状と問題点を明らかにし、さらに「子供の健康保護法」制定をめざす活動を強めることが話し合われました。